

産後も頼られる 助産師になろう

核家族が一般的な家族形態となった現代，退院し地域に戻った多くの母親は，1日のほとんどを1人で子どもと向き合うことになり，それぞれが孤独や不安を抱えているようです。また，経済的な理由から育児が困難となるケースも見られます。女性によりそう助産師という職能を生かし，産後の母児へのケアに積極的にかかわることが，いま求められているのではないのでしょうか。本特集では，母親を支える産後のかわりについて考えます。